



渕攻勢のうちに迎えた試合時間折り返しの2分30秒、増渕が体を開きながら内股で野田を高く跳ね上げて一本。

増渕は3年前の第38回大会の90kg級優勝に続く2度目の優勝。堂々の二階級制覇達成。